

令和2年度

主要な施策の成果に関する説明書

鳥栖・三養基西部環境施設組合

# 令和2年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定に基づく令和2年度決算に係る主要な施策とその成果について次のとおり報告する。

令和3年8月26日

鳥栖・三養基西部環境施設組合  
管理者 岡 毅

## 目 次

### 1 決算の概要

(1) 総括	1
(2) 収支の状況	1
(3) 歳入の状況	1
(4) 歳出の状況	2

### 2 主要事業の成果

(1) ごみ処理	3
(2) 環境情報	6
(3) 啓発事業	7

## 1 決算の概要

### (1) 総括

歳入は、収入額 14 億 8,366 万 7 千円で、前年度から 4,952 万 8 千円 (3.5%) 増となり、歳出も、支出額 14 億 3,447 万 1 千円で、前年度から 3,758 万 9 千円 (2.7%) 増となった。

歳入では、コロナ禍の影響で事業系可燃ごみの減少によるごみ処理手数料収入の減と売渡価格の下落による有価資源物売払金の減少が見られた。

歳出では、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増と溶融飛灰の発生量の増に伴う飛灰処理費の増加、さらにリサイクルプラザ運転管理委託料及びプラント補修費の増加が見られた。

### (2) 収支の状況

歳入総額 14 億 8,366 万 7 千円から、歳出総額 14 億 3,447 万 1 千円を差し引いた歳入歳出差引額は 4,919 万 6 千円となり、実質収支額も同額となっている。

今年度実質収支額から前年度実質収支額 3,725 万 7 千円 (前年度決算剰余金) を差し引いた単年度収支は、1,193 万 9 千円となった。

・歳入歳出収支状況

(単位：千円)

	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
令和 2 年度	1,483,667	1,434,471	49,196	0	49,196
令和元年度	1,434,139	1,396,882	37,257	0	37,257
増減	49,528	37,589	11,939	0	11,939

### (3) 歳入の状況

(単位：千円)

区 分	令和 2 年度		令和元年度		増減 (A)-(B) (C)	対前年度 増減率(%) (C)/(B)
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
分担金及び負担金	1,194,435	80.5%	1,153,674	80.4%	40,761	3.5%
使用料及び手数料	160,262	10.8%	164,986	11.5%	▲4,724	▲2.9%
財産収入	372	0.0%	307	0.0%	65	21.2%
繰入金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
繰越金	37,258	2.5%	29,130	2.1%	8,128	27.9%
諸収入	91,340	6.2%	86,042	6.0%	5,298	6.2%
歳入合計	1,483,667	100.0%	1,434,139	100.0%	49,528	3.5%

・構成市町別負担金一覧

(単位：千円)

区 分		解体準備費	管理運営費	計
鳥栖市	令和2年度	45,072	750,355	795,427
	令和元年度	45,072	723,554	768,626
	増減	0	26,801	26,801
上峰町	令和2年度	7,775	121,985	129,760
	令和元年度	7,775	118,421	126,196
	増減	0	3,564	3,564
みやき町	令和2年度	17,153	252,095	269,248
	令和元年度	17,153	241,699	258,852
	増減	0	10,396	10,396
合計	令和2年度	70,000	1,124,435	1,194,435
	令和元年度	70,000	1,083,674	1,153,674
	増減	0	40,761	40,761

・ごみ処理手数料

(単位：千円)

	鳥栖市	上峰町	みやき町	計
令和2年度	123,152	9,981	27,129	160,262
令和元年度	126,516	10,115	28,320	164,951
増 減	▲3,364	▲134	▲1,191	▲4,689

・資源化物の売払い額

(単位：千円)

	スラグ メタル	金属類	古紙類	ペット ボトル	小型家電	びん類外	合 計
令和2年度	2,397	19,155	5,315	1,529	1,197	659	30,252
令和元年度	2,164	21,139	8,780	0	976	772	33,831
増 減	233	▲1,984	▲3,465	1,529	221	▲113	▲3,579

(4) 歳出の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度		令和元年度		増減 (A)-(B) (C)	対前年度 増減率(%) (C)/(B)
	決算額 (A)	構成比	算額 (B)	構成比		
議会費	284	0.0%	282	0.0%	2	0.7%
総務費	169,962	11.9%	159,580	11.4%	10,382	6.5%
衛生費	1,264,225	88.1%	1,237,020	88.6%	27,205	2.2%
公債費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
歳出合計	1,434,471	100.0%	1,396,882	100.0%	37,589	2.7%

## 2 主要事業の成果

### (1) ごみ処理

令和2年度のごみ搬入量は、総計3万5,194トンで、前年度比較154トン(0.4%)の増加となった。種類別にみると、可燃ごみは458トン(1.6%)の減少、粗大・不燃ごみは484トン(11.7%)の増加、資源ごみは128トン(7.1%)の増加となり、市町の割合は、鳥栖市71%、上峰町8%、みやき町21%となり、ごみ搬入量を1人1日当たりの量に換算すれば、鳥栖市が923グラム、上峰町が765グラム、みやき町が766グラムとなった。

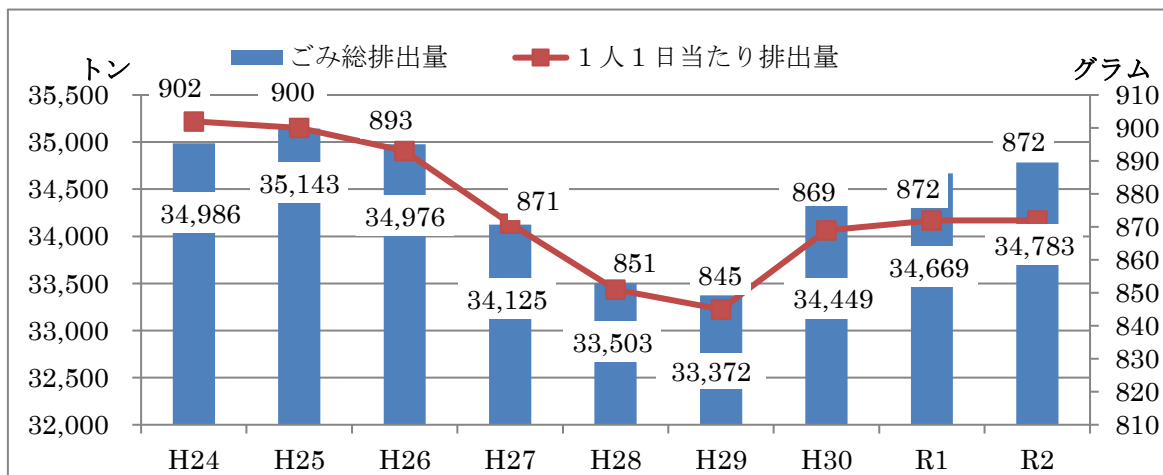
また、令和2年7月熊本豪雨に伴う災害ごみ411.60トンを災害応援協定に基づき熊本県芦北町から受け入れた。

#### ・ごみ搬入量

(単位：トン、人)

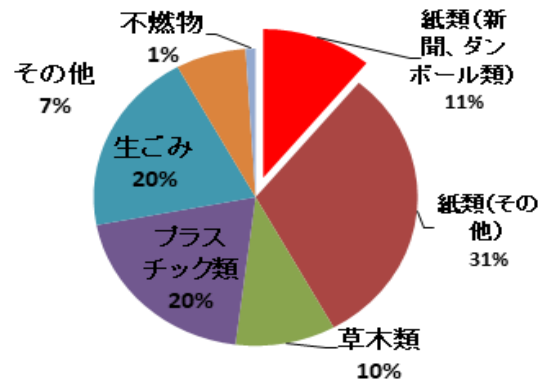
		可燃ごみ	粗大不燃ごみ	資源ごみ	計	人口(10.1)
鳥栖市	令和2年度	20,918.27	2,622.85	1,365.10	24,906.22	73,915
	令和元年度	21,235.82	2,358.56	1,228.18	24,822.56	73,683
	増減	▲317.55	264.29	136.92	83.66	232
上峰町	令和2年度	2,012.41	501.15	172.15	2,685.71	9,623
	令和元年度	2,049.26	483.53	177.16	2,709.95	9,575
	増減	▲36.85	17.62	▲5.01	▲24.24	48
みやき町	令和2年度	5,290.38	1,515.89	384.45	7,190.72	25,714
	令和元年度	5,434.30	1,313.63	388.51	7,136.44	25,706
	増減	▲143.92	202.26	▲4.06	54.28	8
災害ごみ	令和2年度	411.60	(熊本県芦北町)		411.60	
	令和元年度	371.22	(大町町272、武雄市99)		371.22	
	増減	40.38			40.38	
合計	令和2年度	28,632.66	4,639.89	1,921.70	35,194.25	109,252
	令和元年度	29,090.60	4,155.72	1,793.85	35,040.17	108,964
	増減	▲457.94	484.17	127.85	154.08	288

#### ・ごみ搬入量の推移(災害ごみ除く)



・可燃ごみの分類

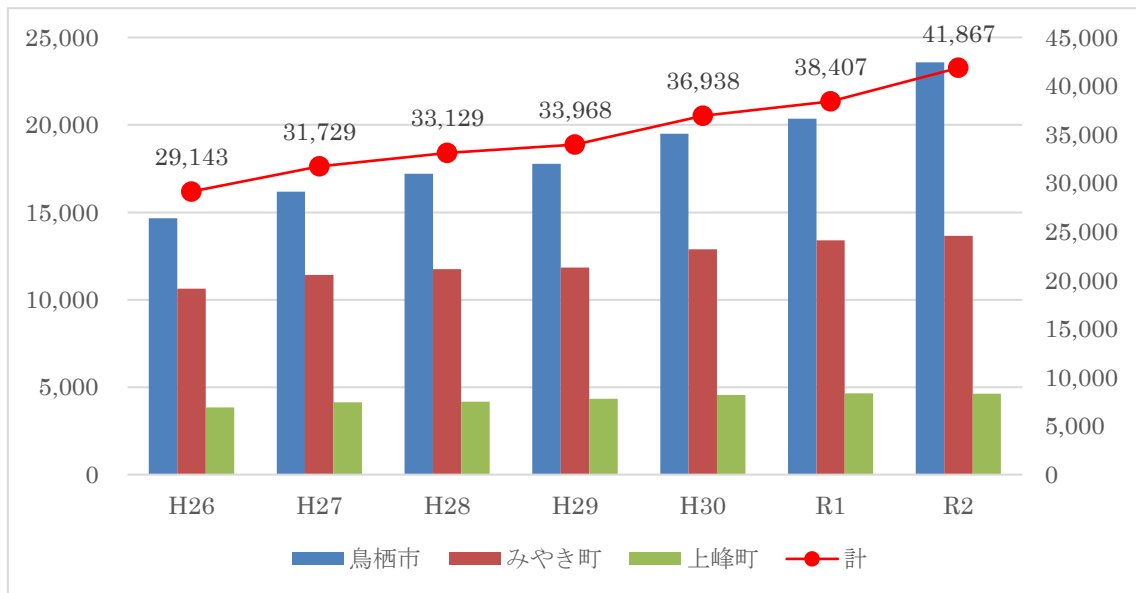
可燃ごみを分類すると、紙類が 42%、プラスチック類 20%、生ごみ 20%、草木類 10%であった。また、紙類のうち、資源化回収の対象となっている新聞、ダンボール類が 11%含まれ、重量にすると 3,100 トン程度となる。



焼却処分の中にながりの資源ごみが潜在していることから、更なる資源化分別を進める余地がある。

生ごみは、前年度からは若干増加しており、依然として可燃ごみ中の水分は 38%を占めている。食品ロスの問題もあり、引き続き「使い切り」、「食べ切り」、「水切り」を推進していく必要がある。

・リサイクルプラザ直接搬入台数の推移 (単位：台)



令和 2 年度は、年間 41,867 台 (前年比 3,460 台増)、1 日あたり 137 台の搬入があり増加傾向にある。特に年末 12 月 28 日、29 日、30 日の 3 日間は、延べ 1,040 台の搬入があった。

・ごみ処理の状況

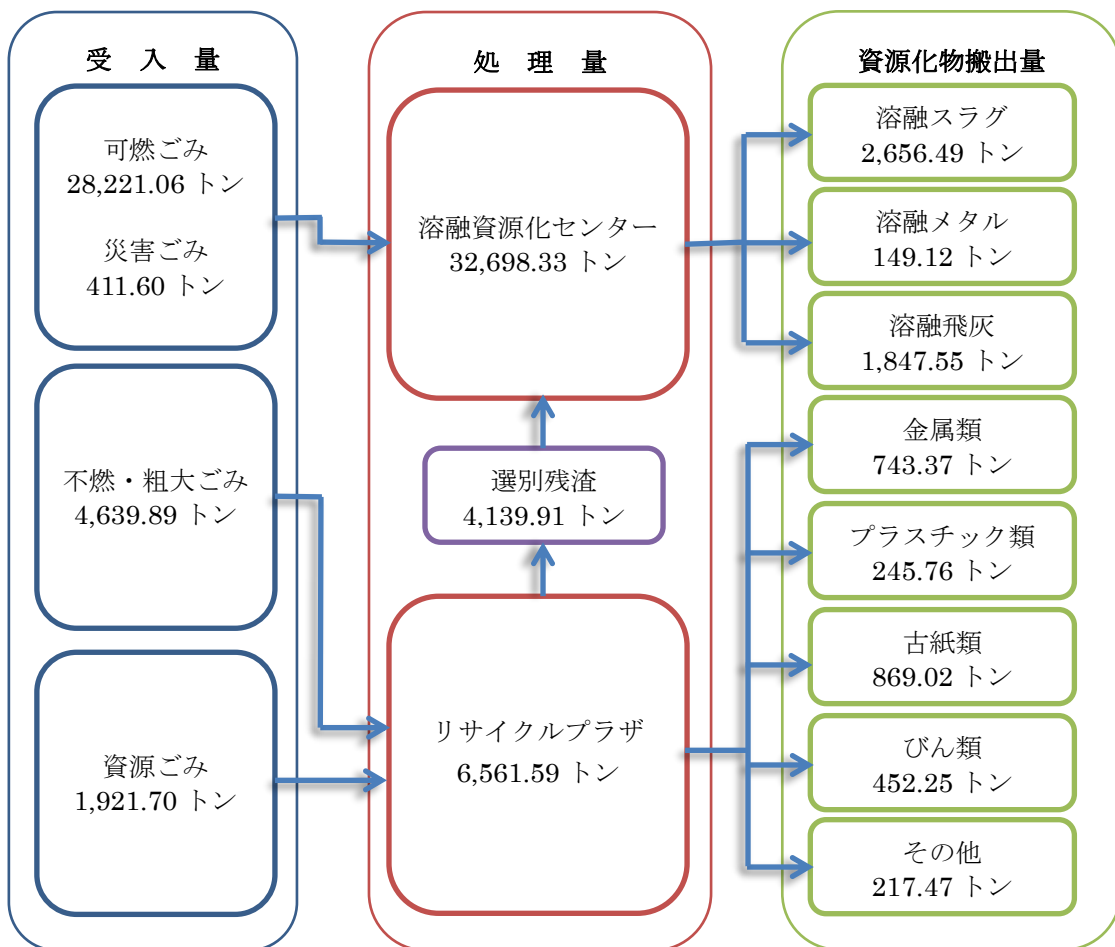
**可燃ごみの処理（溶融資源化センター）**

32,698 トンを溶融施設で溶融処理し、溶融スラグ 2,656 トン（8.12%）、溶融メタル 149 トン（0.45%）を資源化した。溶融飛灰 1,848 トン（5.65%）は山元還元やセメント化、および埋立による処理を行った。

**不燃・粗大ごみ、資源ごみの処理（リサイクルプラザ）**

不燃・粗大ごみ 4,640 トン、資源ごみ 1,922 トンを選別処理し 2,528 トン（39%）を資源化物として搬出した。

・ごみ処理フロー



(2) 環境情報

・排ガス測定結果

区 分	測定日		排出基準 (協定値)
	R2. 6. 26	R2. 12. 11	
ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	0.002	0.002	0.01
硫黄酸化物 (ppm)	19	19	50
窒素酸化物 (ppm)	6	43	100
塩化水素 (ppm)	3.7	8.3	50
一酸化炭素 (ppm)	12	4	30
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.0058	0.00037	0.1
総水銀 (μg/m <sup>3</sup> )	4	22	50

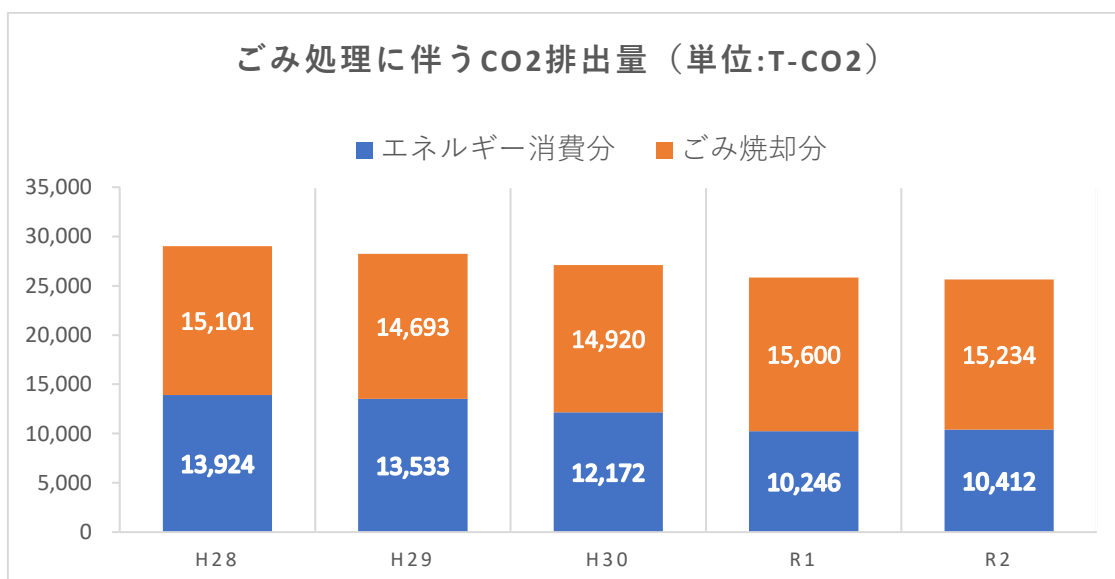
・周辺環境ダイオキシン類調査結果

区 分	測定結果	基準値	測定日
大気 (p g-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.016、0.0063	0.6	R3. 1. 17～23
底質土壌 (p g-TEQ/g)	37	150	R2. 10. 5
一般土壌 (p g-TEQ/g)	3.4	1,000	R2. 7. 31
水質 (p g-TEQ/l)	0.12	1	R2. 10. 5

・温暖化対策

ごみ処理に伴う二酸化炭素の排出量は、年間 25,646 トン-CO<sub>2</sub> であった。

施設内の消費電力削減に努めた結果、年間の二酸化炭素発生量は 200 t-CO<sub>2</sub> と若干減少した。引き続き消費エネルギーの削減とごみ減量化に取り組む必要がある。





### (3) 啓発事業

・リサイクルプラザ利用状況（年間延べ利用者数）

視察研修	イベント参加	研修室借用	宿泊研修	エコライフ講座
369名	846名	101名	0名	0名

施設見学を通して環境学習に小学生 301 名が参加した。環境学習では、施設の紹介と合わせて、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRでゴミ減量化やリサイクル推進への啓発活動を行った。

環境イベントとして、令和2年10月より毎月1日～12日の間に再生家具や再生自転車の展示販売を行う「もったいなか市」を開催した。

また、ホテル時期のホテル公園でのホテル観賞、そして環境美化活動として実施した、風の広場のひまわり花壇や、菊づくり教室の菊花展には多くの来場者があった。

#### ○もったいなか市



#### ○ホテル公園



#### ○小学校視察



#### ○周辺環境美化活動（菊花展）

